



平成25年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年10月30日

上場取引所 東大

上場会社名 センコー株式会社
コード番号 9069 URL <http://www.senko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 泰久
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 広報担当 (氏名) 佐々木 信郎

TEL 06-6440-5155
配当支払開始予定日 平成24年12月4日

四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	144,412	13.9	4,658	22.6	4,711	28.9	2,674	62.5
24年3月期第2四半期	126,837	7.0	3,801	37.7	3,655	29.6	1,645	24.5

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 2,268百万円 (40.9%) 24年3月期第2四半期 1,610百万円 (36.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	21.26	19.20
24年3月期第2四半期	13.08	11.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第2四半期	202,402	64,848	31.1	500.14
24年3月期	202,847	63,274	30.3	488.25

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 62,927百万円 24年3月期 61,424百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期		6.00		6.00	12.00
25年3月期		7.00			
25年3月期(予想)				6.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 配当金の内訳 記念配当 24年3月期 第2四半期末1円00銭 期末1円00銭
平成24年4月26日公表の決算短信に記載した配当予想を修正しております。詳細は、【添付資料】P. 4「<参考> 利益配分に関する基本方針及び当期の配当について」をご覧ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	295,000	9.1	10,000	20.9	10,000	20.0	5,000	43.7	39.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成24年4月26日公表の決算短信に記載した業績予想を修正しております。詳細は、【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。詳細は、[添付資料] P. 4 「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	128,989,476 株	24年3月期	128,989,476 株
25年3月期2Q	3,169,086 株	24年3月期	3,183,467 株
25年3月期2Q	125,823,604 株	24年3月期2Q	125,813,853 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、[添付資料] P. 3 「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3 . 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日~平成24年9月30日 以下「当第2四半期」)における日本経済は、公共投資などの復興関連需要やエコカー補助金などの政策効果を受けて、生産活動や個人消費などに緩やかな持ち直しが見られました。しかし、足元の景気の状態は欧州債務問題の再燃、中国や新興国の経済成長の鈍化、円高、エコカー補助金の終了などの影響により、不安定な状況となってきております。

物流業界におきましては、前年における東日本大震災による物量の減少が回復しているほか、生産活動や個人消費の緩やかな持ち直しを受けて取扱物量が改善傾向にありました。しかしながら、当第2四半期後半に入った頃から輸出や生産活動が弱まってきたことで、取扱物量にも陰りが見えてまいりました。

このような環境の中、当社グループは平成22年4月にスタートさせた「Moving Global」をコーポレートスローガンとする、中期経営三ヵ年計画の最終年度として、国内外で積極的な経営を進めております。

国内では、荷主企業が東日本大震災を機に、製造拠点や在庫拠点を分散させる動きや、原材料・資材調達先を複数確保する動きなどがあり、これらの物流ニーズに対応するほか、積極的な販売拡大による新規顧客へ対応するために、北海道や関東、中部、関西などで新たな物流施設を準備しております。海外におきましても、中国をはじめとするアジア地域で物流業務を新たに請け負うなど、積極的に事業を展開しております。

また、9月には商事・貿易事業の強化の一環として、北海道、東北地区で健康食品や飲料、日用雑貨、化粧品などの卸売りを行う「株式会社オバタ」を子会社として当社グループに迎えました。

当第2四半期の業績といたしましては、新規顧客を積極的に開拓したことや、前期に千葉県野田市や北海道北広島市、宮崎県日向市などに開設した大型設備投資の効果があつたこと、前期に「株式会社スマイル」、「中国ピアノ運送株式会社」をM&Aで子会社としたことなどにより、連結営業収益は1,444億12百万円と対前年同期比13.9%の増収となりました。

一方、利益面におきましては、売上拡大効果、M&A効果、コスト削減効果、ならびに生産性向上などがあつたことにより、連結営業利益は46億58百万円と対前年同期比22.6%の増益、連結経常利益は47億11百万円と対前年同期比28.9%の増益となりました。連結四半期純利益は26億74百万円と対前年同期比62.5%の増益となりました。

当第2四半期の業績をセグメント別にご説明いたしますと、次の通りです。

(物流事業)

流通ロジスティクス事業において前期に稼働した大型拠点開設効果によりGMS(総合スーパー)向けの物流が伸長したことや、住宅物流事業において住宅資材に関する物流が伸長したこと、前期に子会社となった「中国ピアノ運送株式会社」の収益が寄与したことなどにより、事業収入は1,125億16百万円と対前年同期比1.9%の増収となりました。

(商事・貿易事業)

前期に「株式会社スマイル」を子会社としたこと、貿易事業及び石油販売事業が拡大したことなどにより、事業収入は303億69百万円と対前年同期比103.7%の増収となりました。

(その他事業)

情報処理事業の売上増加などにより、事業収入は15億26百万円と対前年同期比4.6%の増収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期末における総資産は2,024億2百万円となり、前期末に比べ4億45百万円の減少となりました。これは差入保証金が4億47百万円増加したものの、有形固定資産が9億55百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第2四半期末における負債の残高は1,375億53百万円となり、前期末に比べ20億19百万円減少しました。これは新株予約権付社債が50億円、長期借入金が13億64百万円増加したものの、支払手形及び営業未払金が28億69百万円、1年内償還予定の新株予約権付社債が49億円、未払法人税等が4億90百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期末の純資産は648億48百万円となり、前期末に比べ15億74百万円の増加となりました。これはその他の有価証券評価差額金が2億17百万円、繰延ヘッジ損益が2億8百万円減少したものの、利益剰余金が19億15百万円増加したこと等によるものです。自己資本比率は前期末より0.8%上昇し、31.1%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物は、前期末に比べ、3億61百万円増加し、137億15百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは38億85百万円の収入となりました。これは税金等調整前四半期純利益が46億75百万円、減価償却費が33億25百万円となったものの、仕入債務の減少が21億58百万円、法人税等の支払額が22億3百万円となったこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは35億70百万円の支出となりました。これは有形固定資産の取得による支出が32億56百万円となったこと等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、37百万円の収入となりました。これは長期借入れによる収入が65億6百万円、新株予約権付社債の発行による収入が50億円となったものの、短期借入金の減少が22億83百万円、長期借入金の返済による支出が23億10百万円、新株予約権付社債の償還による支出が49億円、ファイナンス・リース債務の返済による支出が11億円、配当金の支払額が7億13百万円となったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の日本経済は、公共投資や個人消費が底堅く推移するものの、欧州債務問題の再燃、中国、新興国など海外経済の減速懸念、円高の長期化などの要因により輸出や生産活動が弱まっており、依然として予断を許さない状況が続くと予想されます。

このような環境の中、当社グループは中期経営ビジョンに基づき、社会との共生を図り、従業員の成長志向を育み、高品質でコストパフォーマンスの高いサービスをグローバルに提供する「流通情報企業」をグループ全体で目指してまいります。

平成25年3月期通期の業績予想につきましては、足元の経済情勢、物量動向を鑑みまして、連結営業収益を2,950億円と対前回発表比1.7%の減収、連結営業利益を100億円と対前回公表比2.0%の減益にそれぞれ修正しました。連結経常利益及び連結当期純利益につきましては変更しておりません。当社グループは引き続き、積極的な販売拡大に努めてまいります。

<ご参考> 利益配分に関する基本方針及び当期の配当について

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元を充実させるため、安定配当に加え、業績連動を考慮した配当を実施することを利益配分に関する基本方針としております。

この基本方針のもと、当第2四半期累計期間の連結業績を踏まえ、中間配当金を7円とし、年間配当予想は、1株当たり13円(中間7円、期末6円)とします。

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (平成24年4月26日公表)	6円00銭	6円00銭	12円00銭
今回修正予想		6円00銭	13円00銭
当期実績	7円00銭		
前期実績 (平成24年3月期)	6円00銭 (記念配当1円00銭)	6円00銭 (記念配当1円00銭)	12円00銭 (記念配当2円00銭)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,354	13,715
受取手形及び営業未収入金	40,688	40,318
商品及び製品	4,087	3,900
販売用不動産	3	3
仕掛品	150	230
原材料及び貯蔵品	188	168
その他	5,834	6,021
貸倒引当金	53	70
流動資産合計	64,254	64,288
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	45,806	45,150
土地	39,837	39,852
その他(純額)	10,495	10,181
有形固定資産合計	96,139	95,184
無形固定資産		
のれん	3,730	3,588
その他	3,505	3,546
無形固定資産合計	7,235	7,135
投資その他の資産		
差入保証金	8,810	9,257
繰延税金資産	4,000	4,192
その他	22,687	22,611
貸倒引当金	280	268
投資その他の資産合計	35,217	35,794
固定資産合計	138,592	138,113
資産合計	202,847	202,402

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	32,297	29,428
1年内償還予定の新株予約権付社債	4,900	-
短期借入金	13,936	14,484
未払法人税等	2,281	1,790
賞与引当金	3,125	3,364
役員賞与引当金	172	76
災害損失引当金	43	-
その他	11,327	10,946
流動負債合計	68,084	60,091
固定負債		
社債	12,000	12,000
転換社債型新株予約権付社債	-	5,000
長期借入金	40,422	41,787
退職給付引当金	9,468	9,498
役員退職慰労引当金	66	61
特別修繕引当金	52	61
資産除去債務	316	320
その他	9,162	8,733
固定負債合計	71,489	77,462
負債合計	139,573	137,553
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,521	20,521
資本剰余金	18,782	18,782
利益剰余金	22,901	24,816
自己株式	1,049	1,044
株主資本合計	61,155	63,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	157	60
繰延ヘッジ損益	156	52
為替換算調整勘定	44	35
その他の包括利益累計額合計	269	147
新株予約権	149	195
少数株主持分	1,700	1,725
純資産合計	63,274	64,848
負債純資産合計	202,847	202,402

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業収益	126,837	144,412
営業原価	115,782	129,976
営業総利益	11,055	14,436
販売費及び一般管理費	7,253	9,777
営業利益	3,801	4,658
営業外収益		
受取利息	92	87
受取配当金	430	473
その他	219	282
営業外収益合計	743	843
営業外費用		
支払利息	585	586
その他	302	204
営業外費用合計	888	790
経常利益	3,655	4,711
特別損失		
投資有価証券評価損	-	35
固定資産売却損	299	-
特別退職金	179	-
固定資産除却損	68	-
リース解約損	31	-
特別損失合計	578	35
税金等調整前四半期純利益	3,077	4,675
法人税、住民税及び事業税	518	1,708
法人税等調整額	981	275
法人税等合計	1,500	1,984
少数株主損益調整前四半期純利益	1,577	2,690
少数株主利益又は少数株主損失()	68	16
四半期純利益	1,645	2,674

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,577	2,690
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	218
繰延ヘッジ損益	9	216
為替換算調整勘定	3	12
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	33	421
四半期包括利益	1,610	2,268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,667	2,257
少数株主に係る四半期包括利益	57	11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,077	4,675
減価償却費	2,863	3,325
投資有価証券評価損益(は益)	-	35
固定資産売却損益(は益)	299	0
退職給付引当金の増減額(は減少)	431	29
賞与引当金の増減額(は減少)	569	239
災害損失引当金の増減額(は減少)	640	43
受取利息及び受取配当金	523	561
支払利息	585	586
売上債権の増減額(は増加)	888	482
たな卸資産の増減額(は増加)	77	138
仕入債務の増減額(は減少)	2,268	2,158
その他	746	201
小計	6,356	6,549
利息及び配当金の受取額	131	119
利息の支払額	596	580
法人税等の支払額	1,625	2,203
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,266	3,885
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	8,112	3,256
有形固定資産の売却による収入	767	44
投資有価証券の取得による支出	120	23
投資有価証券の売却による収入	3	2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	3,963	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	23
関係会社株式の取得による支出	11	-
関係会社株式の売却による収入	-	22
その他	206	385
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,229	3,570
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	7,025	2,283
長期借入れによる収入	7,300	6,506
長期借入金の返済による支出	3,634	2,310
ファイナンス・リース債務の返済による支出	888	1,100
新株予約権付社債の発行による収入	-	5,000
新株予約権付社債の償還による支出	-	4,900
自己株式の取得による支出	0	1
自己株式の売却による収入	-	0
配当金の支払額	629	713
その他	113	159
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,059	37
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	8
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,103	361
現金及び現金同等物の期首残高	14,394	13,354
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,497	13,715

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流事業	商事・貿易 事業	その他事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	110,470	14,908	1,458	126,837	-	126,837
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	330	5,147	1,631	7,109	7,109	-
計	110,800	20,055	3,090	133,946	7,109	126,837
セグメント利益	3,312	313	238	3,864	63	3,801

(注)1. セグメント利益の調整額 63百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流事業	商事・貿易 事業	その他事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	112,516	30,369	1,526	144,412	-	144,412
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	394	4,898	1,583	6,876	6,876	-
計	112,910	35,268	3,109	151,288	6,876	144,412
セグメント利益	3,616	926	214	4,757	98	4,658

(注)1. セグメント利益の調整額 98百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、セグメント別の損益をより明確に表示するために、一部の営業費用について、一般管理費に計上し合理的な配賦基準に基づき各報告セグメントへ配賦する方法から、各報告セグメントの営業費用に直接計上する方法に変更しております。

なお、前第2四半期累計期間のセグメント情報は、変更後の計上方法に基づき作成したものを開示しております。